

令和4年度 第1回松江市入札監視委員会

議 事 概 要

開催日及び場所	令和4年7月27日(水) 松江市役所 第2別館4階 研修室		
委員	委員長 大屋 誠 (松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授) 委員 藤本 晴久 (島根大学法文学部法経学科准教授) 安部 寿鶴子 (道の駅本庄企業組合専務理事) 利弘 健 (公認会計士)		
審議対象期間	令和3年12月1日～令和4年3月31日		
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 落札率等の状況について ● 入札方式別発注工事等の状況について ● 指名停止等の運用状況について 		
審議事項	抽出案件数 5件		
	(備考) 抽出の考え方(抽出担当委員) 次の点に着目し、案件の抽出を行った。		
	一般	黒田町雨水枝線その3工事	● 落札率が最も高く、入札参加者数が1者となった
		令和3年災林道里路線・枕木山線災害復旧工事	● 契約金額や落札率が高く、入札参加者3者のうち2者が失格/無効となった
	指名	令和3年災第840号外1線道路災害復旧工事	● 入札参加者数が1者であった
玉造温泉地域地熱発電施設等測量設計業務委託		● 契約金額が最も高く、入札参加者6者のうち予定価格超過が5者、有効入札者が1者となった	
随契	令和3年度史跡松江城月見櫓下石垣保存修理工事にかかる監理業務委託	● 随意契約の理由	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見又は勧告の内容	なし		

※ 参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札				
工事名	黒田町雨水枝線その3工事				
工期	令和3年12月17日～令和4年3月22日				
工事種別	土木一式工事				
工事概要	工事場所：松江市黒田町 工事概要：施工延長 L=96.7m 自由勾配側溝 L=94.7m 集水柵 N=2基 As舗装 A=412 m ²				
入札参加資格	①格付け又は総合点数 A等級又はB等級の者。 C等級の者のうち、松江市発注（公社、企業局は除く。ただし、松江市上下水道局名で発注した雨水事業による工事（松江市において検査を行った工事）は含む。）の令和2年度に完成した土木工事が複数あり、その全工事成績の平均点が78点以上の者。なお、令和2年度に完成した工事が1件又は全くない場合は、令和元年度も対象として適用する。 ②営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。 ③工事实績 元請又は共同企業体（経常JVを除く）の構成員（ただし出資比率20%以上）として、国（公団、公社を含む）、都道府県（公社を含む）又は松江市（合併前の旧市町村を含む。松江市にあつては、公社等を含む。）発注の工事において、平成19年度以降に完成した1契約で1000万円以上の建築一式工事。 ④配置技術者 建設業法に基づく、主任技術者又は監理技術者を配置すること。 監理技術者にあつては、建築工事業に係る監理技術者資格者証の交付を受けており、かつ監理技術者講習を受けている者であること。				
入札参加資格確認申請業者数	2者	入札参加業者数	1者	無資格業者数	なし
予定価格（税込）	21,591,900円				
最低制限価格（税込）	19,420,500円				
契約金額（税込）	21,560,000円（落札率：99.85%）				
入札の経緯及び結果	令和3年12月7日 開札（12月8日落札決定） 第1回目入札で1者の応札があり、開札した結果予定価格以下及び調査基準価格以上での応札であった業者について競争入札参加資格の事後審査を行い、審査の結果参加資格を満たすことが確認できたため、一畑工業（株）に落札決定。				

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札
工事名	令和3年災林地里路線・枕木山線災害復旧工事
工期	令和4年3月23日～令和4年11月14日
工事種別	とび・土工・コンクリート工事
工事概要	<p>工事場所：松江市美保関町外 工事概要：施工延長 L=134.7m（4箇所合計）</p> <p>掘削工 N=1 式、法面整形工 A=1,019 m²、法面工（植生基材吹付工） A=1,898.9 m²</p> <p>林道里路線 第1号箇所 L=19m 掘削工 N=1 式、法面整形工 A=132 m²、法面工（植生基材吹付工） A=333.5 m²</p> <p>林道里路線 第2号箇所 L=16m 掘削工 N=1 式、法面整形工 A=119 m²、法面工（植生基材吹付工） A=194.1 m²</p> <p>林道里路線 第3号箇所 その1工区 L=68.2m 掘削工 N=1 式、法面整形工 A=566 m²、法面工（植生基材吹付工） A=1,022.1 m²</p> <p>林道里路線 第3号箇所 その2工区 L=13.5m 掘削工 N=1 式、法面整形工 A=96 m²、法面工（植生基材吹付工） A=141.0 m²</p> <p>林道枕木山線 第1号箇所 その1工区 L=8.0m 掘削工 N=1 式、法面整形工 A=49 m²、法面工（植生基材吹付工） A=102.9 m²</p> <p>林道枕木山線 第1号箇所 その2工区 L=10.0m 掘削工 N=1 式、法面整形工 A=57 m²、法面工（植生基材吹付工） A=105.3 m²</p>
入札参加資格	<p>①格付け又は総合点数 なし</p> <p>②営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。</p> <p>③工事实績等 下記①②を全て満たすこと。 ①平成31・32（～令和3）年度入札参加資格申請時の経営事項審査における法面処理工事の年平均工事高が1000万円以上あること。 ②植生基材吹付工事の施工機械を保有（継続的なリース契約を含む）していること。</p> <p>④配置技術者 建設業法に基づく、主任技術者又は監理技術者を配置すること。 監理技術者にあつては、とび・土工工事業に係る監理技術者資格者証の交付を受けており、かつ監理技術者講習を受けている者であること。</p>

入札参加資格確認 申請業者数	4者	入札参加業者数	3者	失格業者数	2者
予定価格（税込）	45,111,000円				
最低制限価格（税込）	41,020,100円				
契約金額（税込）	44,000,000円（落札率：97.54%）				
入札の経緯 及び結果	<p>令和4年3月16日 開札（3月16日落札決定）</p> <p>第1回目入札で3者の応札があり開札した結果、うち2者が最低制限価格を下回ったため失格となった。予定価格以下及び調査基準価格以上での応札であった残る1者について競争入札参加資格の事後審査を行い、審査の結果参加資格を満たすことが確認できたため、モリタ工業（株）に落札決定。</p>				

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	令和3年災第840号外1線道路災害復旧工事
工期	令和4年3月18日～令和4年7月25日
工事種別	土木一式工事
工事概要	<p>工事場所：松江市東出雲町</p> <p>工事概要：地区1 840号 施工延長 L=7.0m</p> <p style="padding-left: 150px;">ブロック積工 A=24 m²</p> <p style="padding-left: 150px;">舗装工 A=25 m²</p> <p style="padding-left: 150px;">防護柵工 L=12m</p> <p style="padding-left: 100px;">地区2 842号 施工延長 L=6.0m</p> <p style="padding-left: 150px;">ブロック積工 A=23 m²</p> <p style="padding-left: 150px;">舗装工 A=5 m²</p>
工事のランク	A又はB又はC
指名業者数	15者
指名業者を選定した考え方	<p>市登録業者で、下記の条件を満たす15者をローテーションで指名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「土木一式工事」の建設業許可を受けていること。 ● 建設業法に規定する主たる営業所を市内に有すること。 ● 500万円以上の公共の土木一式工事の施工実績があること。 ● 電子入札登録者であること。
入札参加業者数	1者
予定価格（税込）	11,568,700円
最低制限価格（税込）	10,395,000円
契約金額（税込）	11,550,000円（落札率：99.84%）
入札の経緯及び結果	<p>令和4年3月10日 開札</p> <p>第1回目の入札で1者が応札し、予定価格以下の応札であり最低制限価格を上回っていたため、モリツウ(株)に落札決定。</p>

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
業務名	玉造温泉地域地熱発電施設等測量設計業務委託
履行期間	令和3年12月9日～令和4年6月15日
業務種別	土木関係建設コンサルタント
業務概要	<p>業務場所：松江市玉湯町 業務内容：〔測量業務〕</p> <p>基準点測量（4級基準点） N=1 式 路線測量 N=0.26 km 現地測量（A=0.007 m²） N=1 業務 打合せ協議 N=1 式</p> <p>〔設計業務〕</p> <p>バイナリー発電設備及び熱水送水設備基本設計 N=1 式 バイナリー発電設備詳細設計 N=1 式 熱水送水設備詳細設計 N=1 式 熱水送水管詳細設計 N=1 式 制御システム設計 N=1 式 概算工事費算定 N=1 式 打合せ協議 N=1 式</p>
業務のランク	なし
指名業者数	14 者
指名業者を選定した考え方	<p>市登録業者で、下記の条件を満たす 14 者を指名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市内に本社（本店）又は契約を委任する支店・営業所を有する事業者であること。 ● 「機械」又は「電気電子」部門で登録した技術士、RCCM、認定技術管理者のいずれかが在籍すること、若しくは地熱発電の業務実績があること。 ● 歩掛見積の辞退者を除く。 ● 電子入札登録者であること。
入札参加業者数	6 者
予定価格（税込）	（非公開）
調査基準価格（税込）	（非公開）
契約金額（税込）	24,750,000 円（落札率：（非公開））

入札の経緯 及び結果	令和3年12月6日 開札 第1回目の入札で6者が応札し、その内5者は予定価格超過、残りの1者が調査基準価格を上回っていたため協和地建コンサルタント(株)に落札決定。
---------------	---

抽出事案説明書

入札方式	随意契約
業務名	令和3年度 史跡松江城月見櫓下石垣保存修理工事にかかる監理業務委託
履行期間	令和3年12月2日～令和4年8月31日
業務種別	土木関係建設コンサルタント
業務概要	業務場所：松江市殿町 業務内容：史跡松江城月見櫓下石垣の積上げ工事の監理業務
随意契約の理由	(非公開)
適用条項	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 (不動産の買入れ又は借入れ、普通地方公共団体が必要とする物品の製造、修理、加工又は納入に使用させるために必要な物品の売払いその他の契約でその性質又は目的が競争入札に適しないものをするとき。)
契約予定額(税込)	非公開
契約業者名	(株)文化財保存計画協会
契約金額(税込)	4,213,000円(落札率：非公開)
経過	随意契約審査会承認日：令和3年11月25日 契 約 日：令和3年12月1日

1. 落札率等の状況について

(説明要旨)

【建設工事】**○落札率の推移**

令和3年度の平均落札率は93.53%で、昨年と比べて大幅に下落しているが、これは、令和2年度が新庁舎関連工事で引き上げられて高くなったためであり、この令和3年度については、単純平均で算出した94.69%も含めて、概ね例年通りの落札率となっている。

○月別入札件数と落札率の推移

令和3年度の入札件数は226件と令和2年度に比べて約70件減少している。

これは、令和2年度は災害工事の発注件数が多かったことと、学校施設のエアコン整備が多かったことが原因となっている。また、令和3年度は7月の豪雨災害対応で通常の発注が出来なかったこと、そしてその災害についても令和3年度に発注しきれないことなどが原因となっている。

○工種別落札率の推移

「土木」以外の業種につきましては、例年どおり95%前後となっているが、土木については、5月と6月に実施した「橋の架け替え工事2件」で落札率が低かった影響で低くなっている。

○価格帯別落札率推移

価格帯による特段の特徴はないが、1億円～1億5,000万の価格帯については、先ほど同様橋の架け替え工事における低い落札率の影響で低くなっている。

○入札執行状況

令和3年度の不調・不落の件数は52件であり、こうした案件については取止めとしたものもあるが、不落随契や指名する業者や設計などの変更による再入札などで対応している。

通常、工事が集中しないよう発注時期の平準化を行ったり、近隣の小さな工事をまとめて発注したり、さらに技術者の兼務条件の緩和などにより対応していたが、昨年度は7月から8月の豪雨災害に伴う突発的な工事が多く発生し、各事業者の手持ち工事(受注余力)の関係で不調が急増したものと推測される。

【業務委託】**○落札率の推移**

ここ数年92%前後で推移しており、令和3年度の落札率は91.90%と同水準となっている。

○月別入札件数と落札率の推移

概ね当初予算通過して準備が整う6～7月が多くなるが、昨年度については7月が災害対応のため少なくなり、その分が8月に集中して発注となっている。

○業種別落札率の推移

業種における特段の特徴はないが、中ほどの建築設計において、60%台と低くなっており、これは、東出雲と島根支所の設計において落札率50%台だったことが原因となっている。

○価格帯別落札率推移

特段の特徴はないが、2,000万～3,000万円が低い落札率になっているが、こちらも先ほどと同様東出雲支所の設計において落札率が低かったことが原因となっている。

○入札執行状況

令和3年度の不調・不落の件数は3件となっており、例年、業務委託での不落・不調はあまりなく珍しいが、こちらについても災害対応で事業者の受注余力がなく応札されなかったのではと推測される。

2. 入札方式別発注工事等の状況について

添付の資料を参照いただきたい。(詳細説明は省略)

質問及び意見	回答
不調・不落の案件で取止めた件数も多いように思うが、これについてはその後どう対応したか。	不調・不落は主に災害復旧工事で発生している。この災害復旧工事については、まとめて発注したり技術者要件の緩和により、できるだけ業者が受注しやすい環境をつくって発注したものの、どうしても業者の手持ち工事の関係で不調・不落が多くなっている。その後2度3度と入札にかけたものの不調・不落となったもの、地権者との兼ね合いで時期的に発注できなかったものがある。これらについては、今年度初めにあらためて入札を行っている。
昨年度落札しなかったものは、今年度に発注済みということによいか。	市民生活に一番影響のある道路災害について最初に出して、その後河川災害、農林災害という形で発注を行っている。道路災害については、比較的現場に重機等も入りやすいということを受注しやすい条件だが、河川災害は現場に行くための仮設道を造らなければならないなど現場条件が厳しく、業者が躊躇する傾向にある。更に農林災害については耕作の関係で時間が限られた中で施工しなければならないこと、年度末は気候が悪く泥をかまうのに無理があることにより敬遠される傾向にある。これらのことから、年度初めのいい時期に出して受注をしてもらうということになる。

審議結果：全委員了承

【審議事項について】

1. 一般競争入札【黒田町雨水枝線その3工事】

※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 資料3-1 のとおり。

○2次製品側溝と舗装復旧の一般的な工種のみで積算は単純だが、市街地の狭隘で通行量が多く軟弱地盤の地域であり、安全と沈下対策に経費が高むことから、利益を確保するため高い価格での応札となり、落札率も高くなったと推察される。

<p>また、街中で地盤が悪く細心の注意を払う工事であることで敬遠され、最終的に工事場所に近い1者の応札になったと推察される。</p>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>辞退をした業者については工事場所から遠かったか。</p>	<p>遠い業者だった。工事規模的には興味を持ったものの、現地の状況を調べた結果敬遠したのではないかと推察する。</p>
<p>予定価格が事前にはわからない上でこの99.58%というほぼ100%の落札率は偶然か。</p>	<p>積算については基本的な歩掛が公表されており、それを使って積算システムで計算するため、よほど特殊な工事でない限り、発注者が積算するものとはほぼ変わらない積算能力を持っている。</p>
<p>今後も同様の工事が予定されているか。</p>	<p>多くの箇所では計画されているが、発注課としては想定を超えた雨の際に浸水する場所から計画を進めていこうと考えている。軟弱地盤でもあり難しいエリアだと思う。</p>
<p>難しい工事に必要な技術的な部分を入札参加資格では求めているか。</p>	<p>この工事は技術的にはそんなに難しい工事ではないが、軟弱地盤の場合は水路を入れる溝を一本掘るにしても、下が柔らかいので振動が周りに伝わるため近隣の住民の方から苦情があったりする。また、道路に家が張り付いているため日々の出入りを確保しなければならないなど、技術的には単純だが周囲への配慮や繊細な工事が求められるデリケートな工事。</p>
<p>審議結果：全委員了承</p>	
<p>2. 一般競争入札【令和3年災林道里路線・枕木山線災害復旧工事】</p>	
<p>※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 資料3-2 のとおり。</p> <p>○入札参加者2者が失格となったことについては、例年は災害箇所ごとに1件ずつ発注していたものを、同じ路線の災害をまとめて発注することで工事規模を大きくし、利益が見込めるように受注対策をとったことで受注への意欲が高まり、競争が働いたことで最低制限価格を見据えた金額で応札を試みたものの、結果として両者とも最低制限価格を下回る金額となったものと推察される。</p>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>2者が頑張っ最低制限価格を下回ったが、競争の面から言えばもう少し最低制限価格が低くてもよかったのではないか。その線の引き方で発注金額が200～300万上がった。市の税金が多く出ていくことを市はどう考えているか。</p>	<p>最低制限価格というのは積算して設計金額を算出し、それを基に直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費に決まった係数をかけて設定するものであり、業者の利益を確保するために最低これだけの額が必要というもの。安い方がよいのではないかというご意見だが、施工方法については制限していないため、目的物を造っていただければやり方は業者の責任においてやってくれというもののた</p>

	め、性能のいい施工機械を持っている、得意な工法を持っているなどの理由で利益率が出ると見込んで向かったと推察できるが、市としてはあくまでも国に準じた標準積算の中での利益率の積算しかできないと思っている。
国に準じた基準でやっているということだが、独自の工法などで安くできているのであれば結果をフィードバックして後々に活かすべきではないか。	国の基準に準じて県の基準ができ、県の基準に準じて市も基準を設定している中で、会計検査などで独自の基準を使う根拠を指摘されたときに、フィードバック事案の数が少なく説明根拠に乏しい。そのため今回のケースのような件があったことにより市の基準を下げることは難しい。
1 者だけ飛びぬけて低いのであればやりすぎだとなるだろうが、3 者中 2 者が最低制限価格を下回ったということは、むしろこの金額の方が正しいのではと見えてしまう。	これから同種工事を見ながら企業の能力に応じた結果の反映について検討が必要かもしれない。貴重なご意見ありがとうございます。

審議結果：全委員了承

3. 指名競争入札【惣津地区増殖場整備工事】

※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 **資料 3-3** のとおり。

○令和 4 年 2 月 7 日に 15 者の指名により入札を実施し、1 者の応札があったが、積算に誤りがあり失格となったため不調となった。残る 14 者については手持ち工事が多く、応札に至らなかったと推察される。

令和 4 年 3 月 10 日に 2 回目入札を、前回応札し受注意欲のあった 1 者と、新たに 14 者指名し合計 15 者により入札を実施したところ、前回と同じ 1 者のみが応札し落札された。残る 14 者については 12~2 月までに本市と県から多数の災害が発注されており、手持ち工事が多く応札に至らなかったと推察される。

質問及び意見	回答
災害復旧工事について何か発注のやり方を工夫するなど対策はあるか。	技術者要件の緩和や複数の工事をまとめて発注するといった 2 つの方法をとっている。
全国的に災害復旧工事が多く出ている中で、これを受注すればポイントになるなど何かメリットがあると受注してもらえるようになるのではないかと思うので検討してほしい。	令和 4 年度より総合評価の加点項目に災害対応を追加している。

審議結果：全委員了承

4. 指名競争入札【玉造温泉地域地熱発電施設等測量設計業務委託】

※業務概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 **資料 3-4** のとおり。

○この業務においては、設計に関する標準積算歩掛がないため、事前に地熱発電施設設計業務の実績を持つ 9 者に歩掛見積書の徴収を依頼し、そのうち 5 者から見積書の提出を受けた。歩掛の決定については、広く一般に公開を行っている「業務委託における見積による歩掛の決定方法」に基づき、見積各社の平均直下の歩掛を採用することとして業務設計書を作成し、この業務では協和地建

<p>コンサルタント(株)の見積が採用となった。</p> <p>入札にあたっては歩掛見積を徴収した 5 者を含め、14 者を指名選定したが、地熱発電施設の設計業務といった特殊な業務内容であったことから、指名された各者の受注に対する意欲は様々であったものと思われる。</p> <p>受注者となった協和地建コンサルタント(株)は、地元企業であることから経費が抑えられる上、温泉掘削の経験が豊富で、ボーリング工事も受注しており現地状況を熟知していることから価格が抑えられたこと、他社については、有利性がなく利益確保から高い価格での応札となり、受注に意欲的であった協和地建コンサルタント(株)が落札者になったものと推察される。</p>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>入札金額にかなり幅があるが、こんなものなのか。技術的なことや特殊性があるということ、その中で地元業者が経費を抑えられるということだったが、他の業者はそういうメリットはなかったか。</p>	<p>島根県内には本業務に係る技術者がほとんどおらず、ほとんどの業者は市外の本社から技術者を出張で連れてこないといけなくなり、経費が掛かる。また落札業者は自社でボーリングができるが、他の大手企業は大体下請けに出したりするので、その部分でも経費が掛かるということがあるかもしれない。</p>
<p>今回歩掛見積り徴収したところはみな指名されているか。</p>	<p>見積を提出した業者はすべて指名している。</p>
<p>審議結果：全委員了承</p>	
<p>5. 指名競争入札【令和3年度 史跡松江城月見櫓下石垣保存修理工事にかかる監理業務委託】</p>	
<p>※業務概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 資料3-5 のとおり。</p>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>他に同様の技術を持っているコンサルはいないか。</p>	<p>たしかに他もいるが、松江城の石垣を他の業者がやろうとすると石垣も1から調べなければならず、金額的にも今回の金額では収まらないだろう。計画・設計から携わっており松江城に精通している業者がここしかない。</p>
<p>今後は直営でやるか今回のように外注にするか。次世代につなぐために今後も国宝の維持をしていかなければならないことから、直営で専門性を有した職員の育成も視野に入れてほしい。</p>	<p>直営でやるとなると文化財・土木両方に精通していなければならずむずかしいが、長期的視野に立った場合育成も必要と考えている。</p>
<p>審議結果：全委員了承</p>	
<p>【報告事項】</p>	
<p>①指名停止等の運用状況について</p>	
<p>令和3年12月1日～令和4年3月31日の期間における指名停止は1件1者あり。</p>	
<p>質問及び意見は特に無し。</p>	

②工事入札制度の変更と落札率の推移について

令和3年度は制度の変更はなく、引き続き過去の改正の結果を検証していく段階と考えている。

【その他】

〔次回開催予定について〕

令和4年度第2回委員会は11月頃に開催することとし、日時は事務局で調整する。

以上